

# データ集

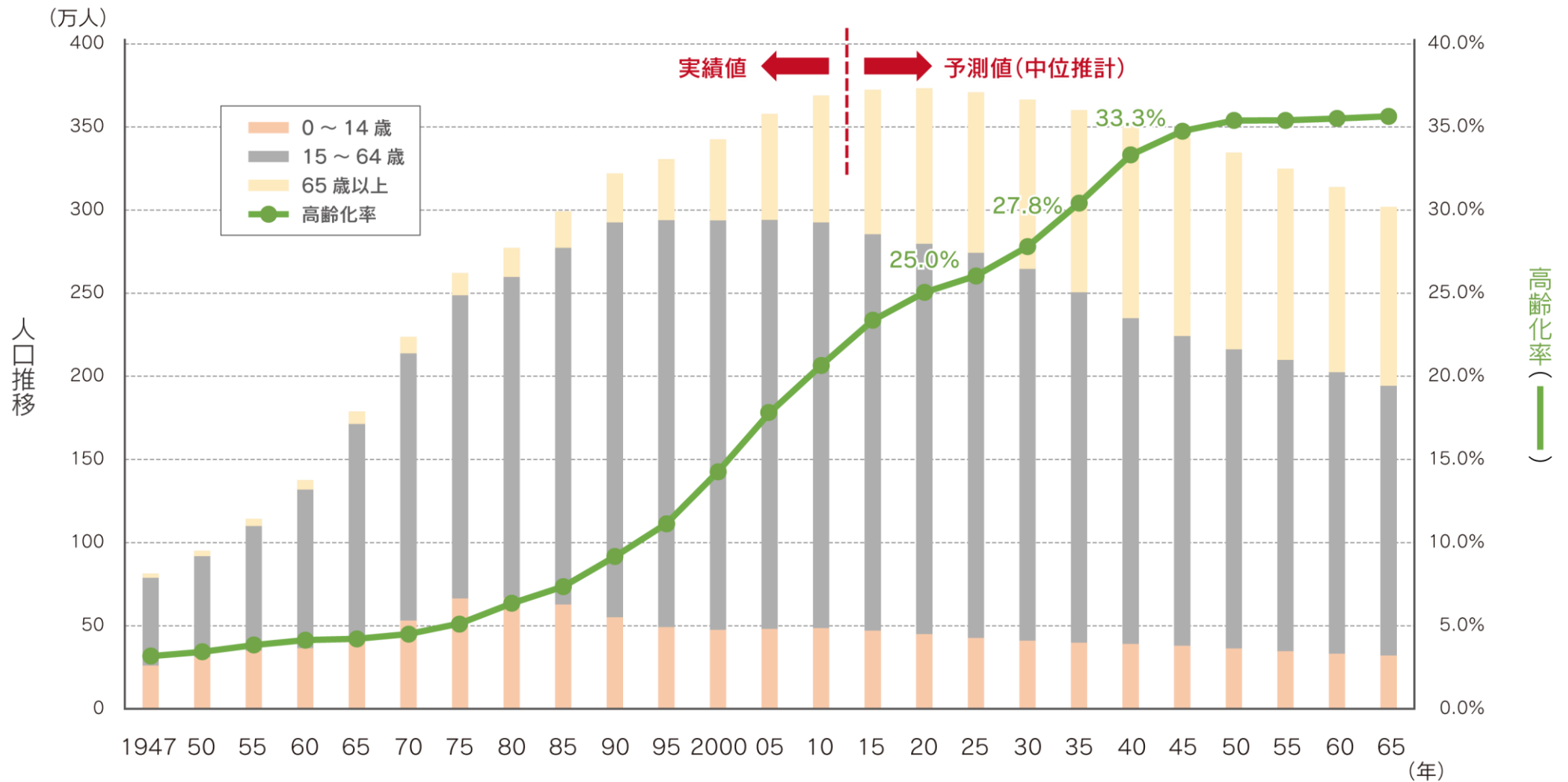
- ・ 横浜市の将来推計人口(年齢3区分)
- ・ 観光入込客数(実人数)・観光消費額の推移
- ・ 観光入込客数・平均消費額の推移(宿泊)
- ・ 観光入込客数・平均消費額の推移(日帰り)
- ・ 宿泊客の宿泊数
- ・ 日帰り客の滞在時間
- ・ 旅行者の立寄箇所数(日帰り・宿泊)
- ・ 旅行者の居住地別割合
- ・ 来訪目的
- ・ 訪問回数
- ・ 季節別の旅行者数(延べ数)
- ・ 市内主要ホテルの平均稼働率
- ・ 市内の国・地域別外国人延べ宿泊者数
- ・ 観光公式ウェブサイト「横浜観光情報」のページビュー(PV)数
- ・ 都市別国際会議の開催件数
- ・ 都市別国際会議の参加者総数
- ・ 中大型国際会議の開催件数
- ・ 会場別国際会議の参加者総数
- ・ クルーズ船の寄港回数(港湾別)
- ・ 学術・研究開発機関の事業所数
- ・ 技術者・研究者の数
- ・ 訪日外国人旅行者のサステナブルに対する意向
- ・ 観光・MICEに関する市民意識

データ集で示す構成比の数値は表示単位未満を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない場合があります。

# データ集

## ■横浜市の将来推計人口(年齢3区分)

横浜市は今後、人口減少や少子高齢化が更に進むと推計されています。

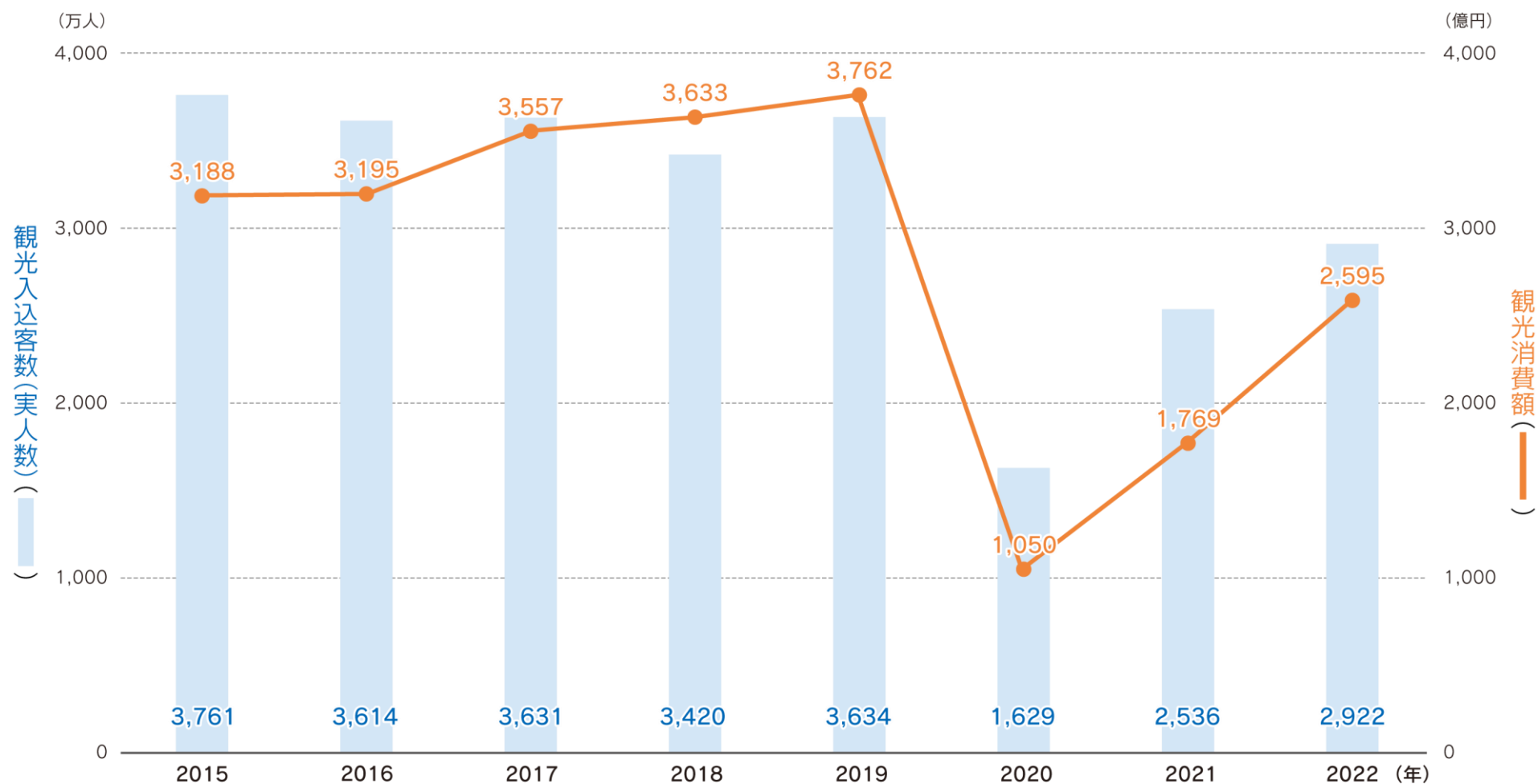


出典:横浜市「横浜市の将来人口推計 基準年人口 2015年(平成27年)国勢調査」

# データ集

## ■観光入込客数(実人数)・観光消費額の推移

2015～2019年(5か年)の平均観光入込客数は3,612万人であり、平均消費額は3,467億円となっています。

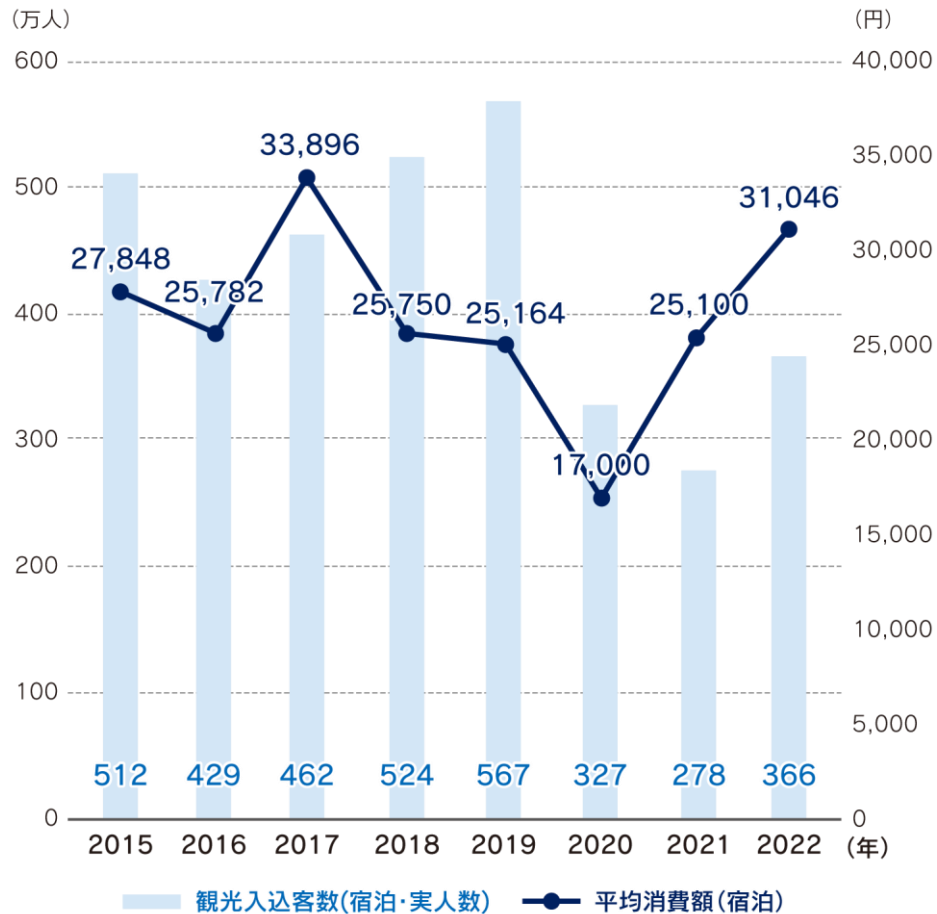


出典:横浜市「観光動態消費動向調査」

# データ集

## ■観光入込客数・平均消費額の推移(宿泊)

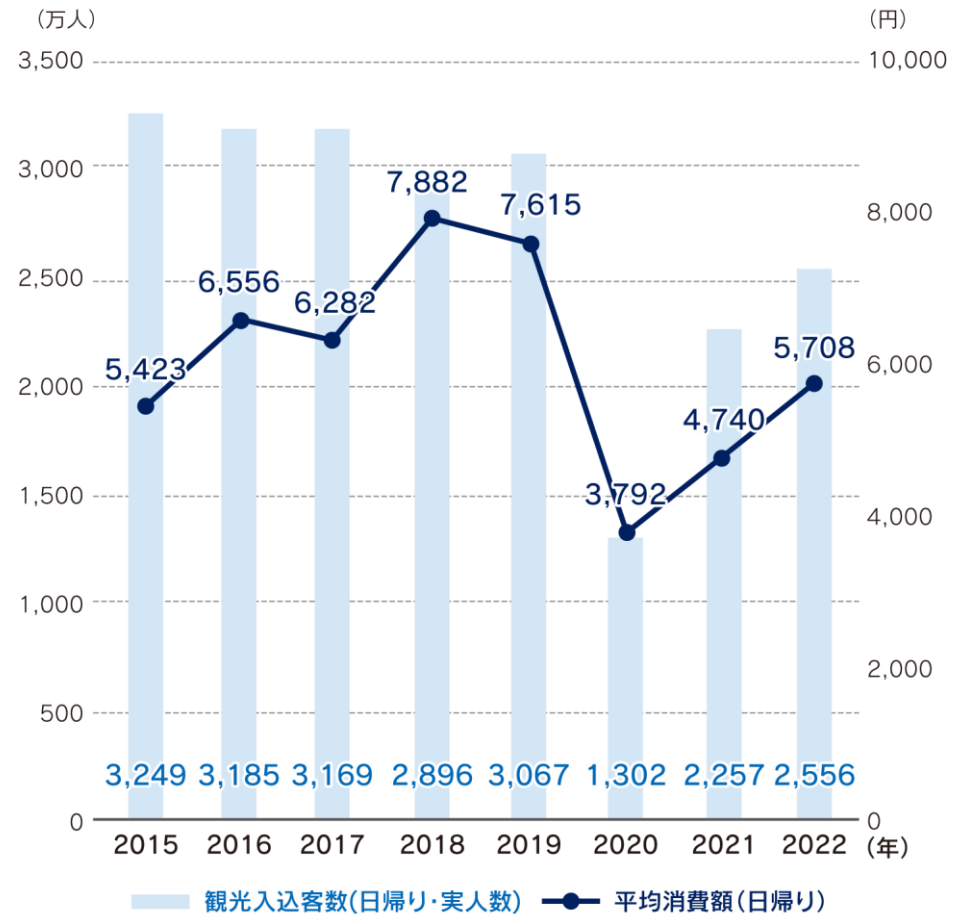
2015～2019年(5か年)の宿泊の平均観光入込客数は499万人であり、平均消費額は27,688円となっています。



出典:横浜市「観光動態消費動向調査」

## ■観光入込客数・平均消費額の推移(日帰り)

2015～2019年(5か年)の日帰りの平均観光入込客数は3,113万人であり、平均消費額は6,752円となっています。

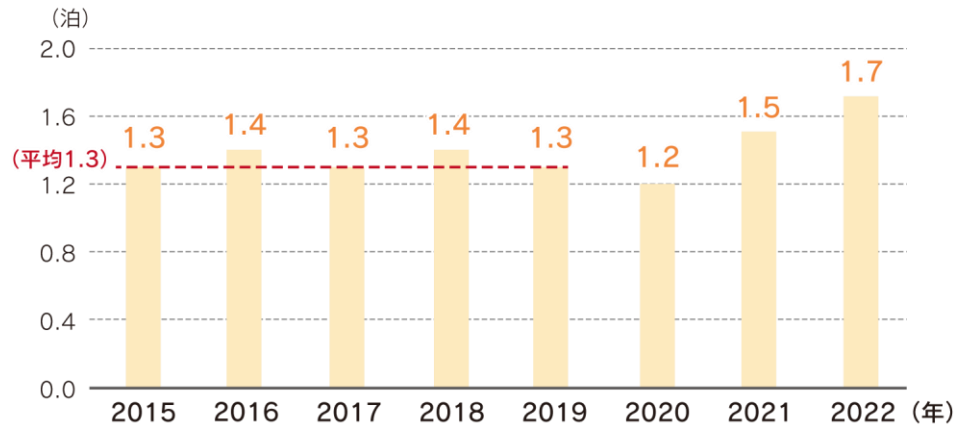


出典:横浜市「観光動態消費動向調査」

# データ集

## ■宿泊客の宿泊数

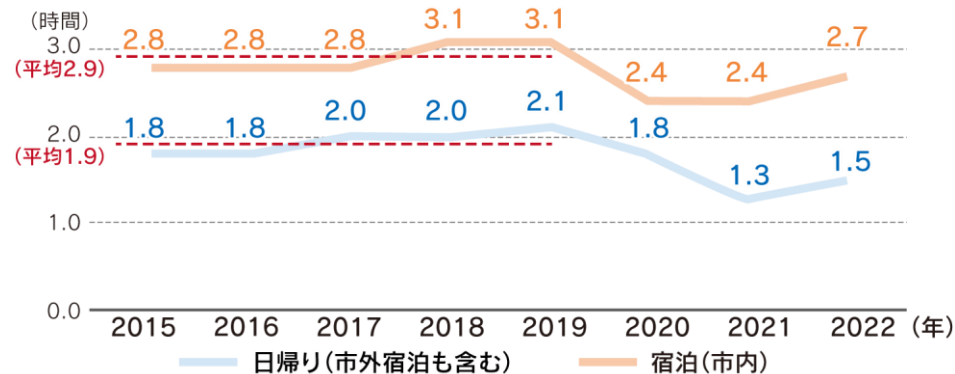
2015～2019年(5か年)の宿泊客の平均宿泊数は、約1.3泊です。



出典:横浜市「観光動態消費動向調査」

## ■旅行者の立寄箇所数(日帰り・宿泊)

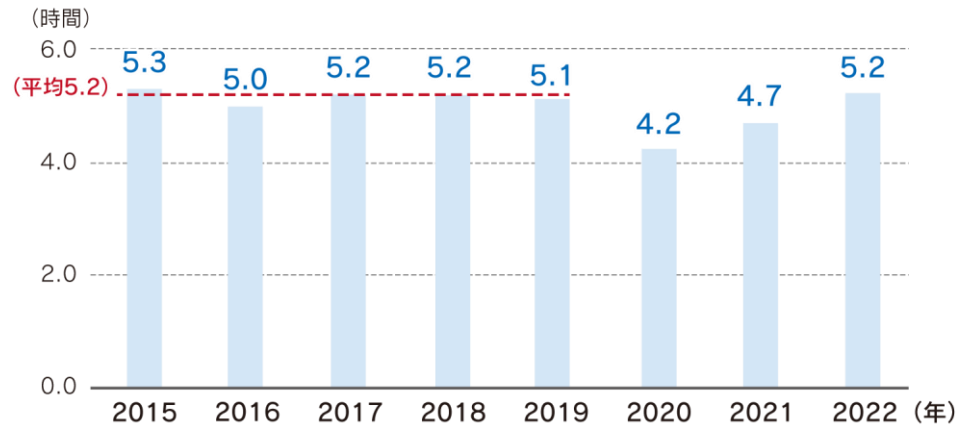
2015～2019年(5か年)の旅行者の平均立寄箇所数は、日帰り客より宿泊客の方が1箇所多い傾向です。



出典:横浜市「観光動態消費動向調査」

## ■日帰り客の滞在時間

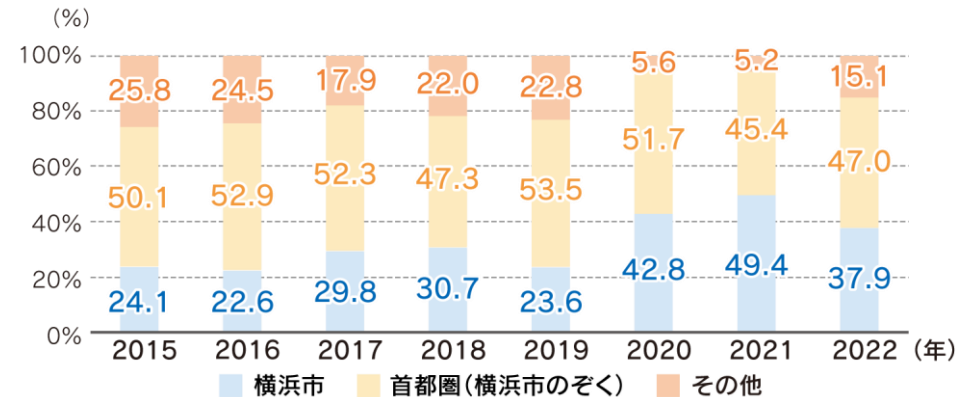
2015～2019年(5か年)の日帰り客の平均滞在時間は、約5.2時間です。



出典:横浜市「観光動態消費動向調査」

## ■旅行者の居住地別割合

2015～2019年(5か年)の旅行者の居住地別割合の平均は、横浜市を含む首都圏が77.4%です。

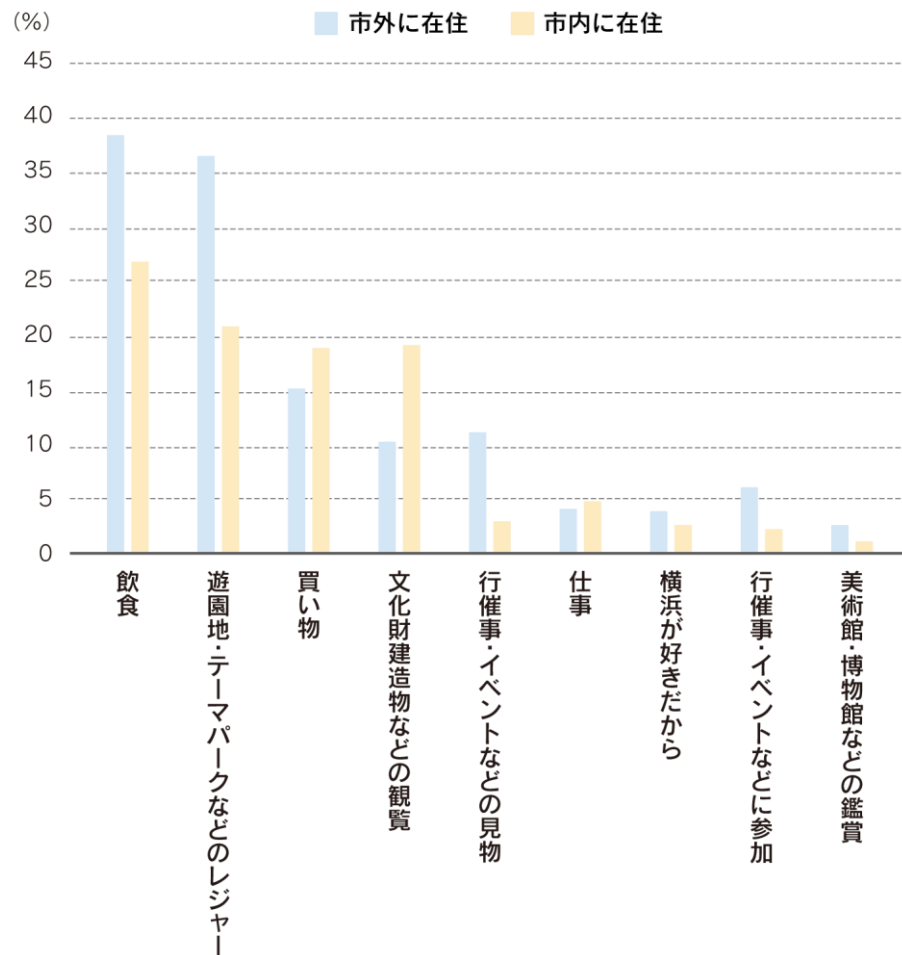


出典:横浜市「観光動態消費動向調査」

# データ集

## ■来訪目的

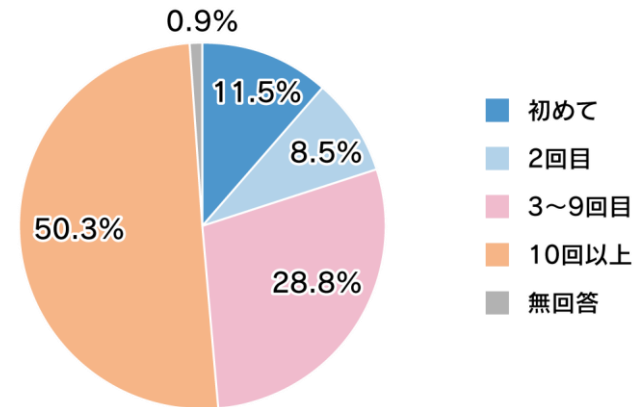
市外在住者の来訪目的は、「飲食」が38.7%と最も高く、「遊園地・テーマパークなどのレジャー」が36.6%、「買い物」が15.3%となっています。



出典：横浜市「観光動態消費動向調査(令和4年度)」

## ■訪問回数

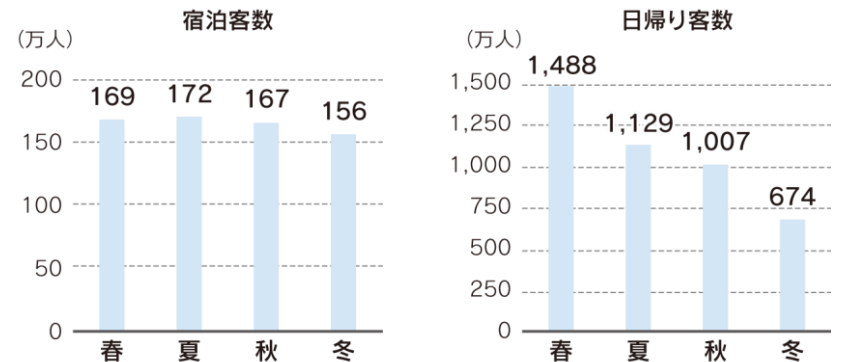
市外在住者の訪問回数は「10回以上」が50.3%と半数以上を占めています。



出典：横浜市「観光動態消費動向調査(令和4年度)」

## ■季節別の旅行者数(延べ数)

季節別の旅行者数は、宿泊・日帰りどちらも「冬(12～2月)」が最も少なく、特に日帰りは最も多い「春(3月～5月)」と比較した場合、その差が約2.2倍です。

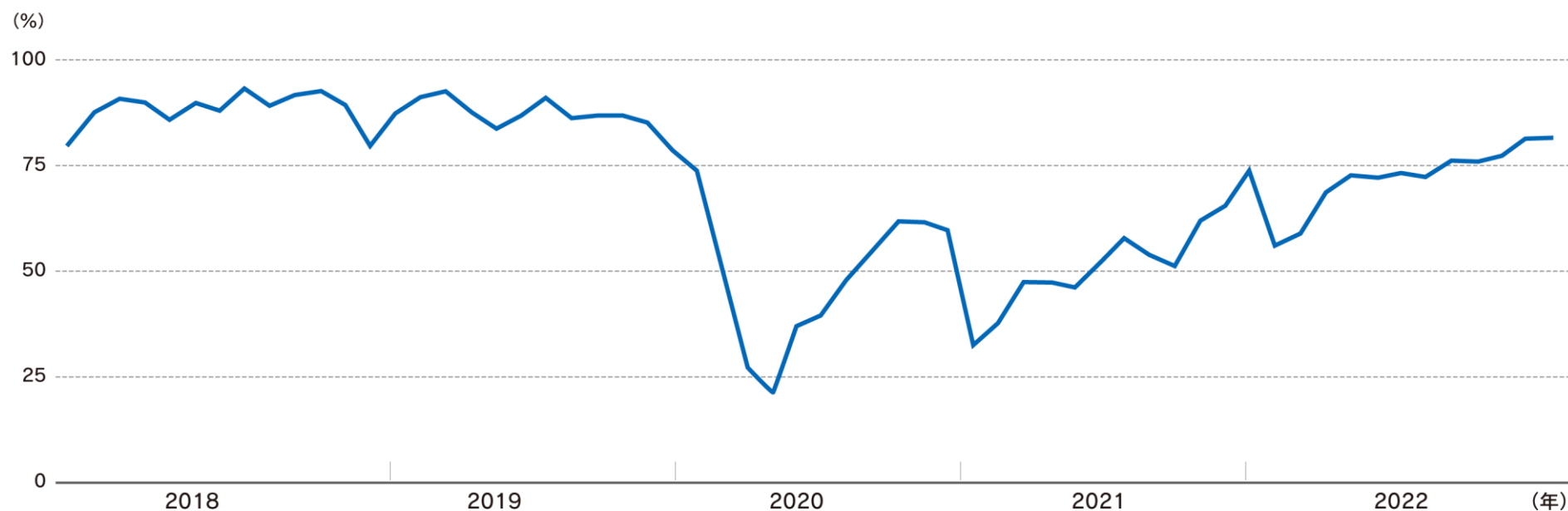


神奈川県「入込観光客調査」より横浜市作成

# データ集

## ■市内主要ホテルの平均稼働率

2020年に20%台まで下落した市内主要ホテル平均稼働率は、2022年に向け回復傾向にあります。



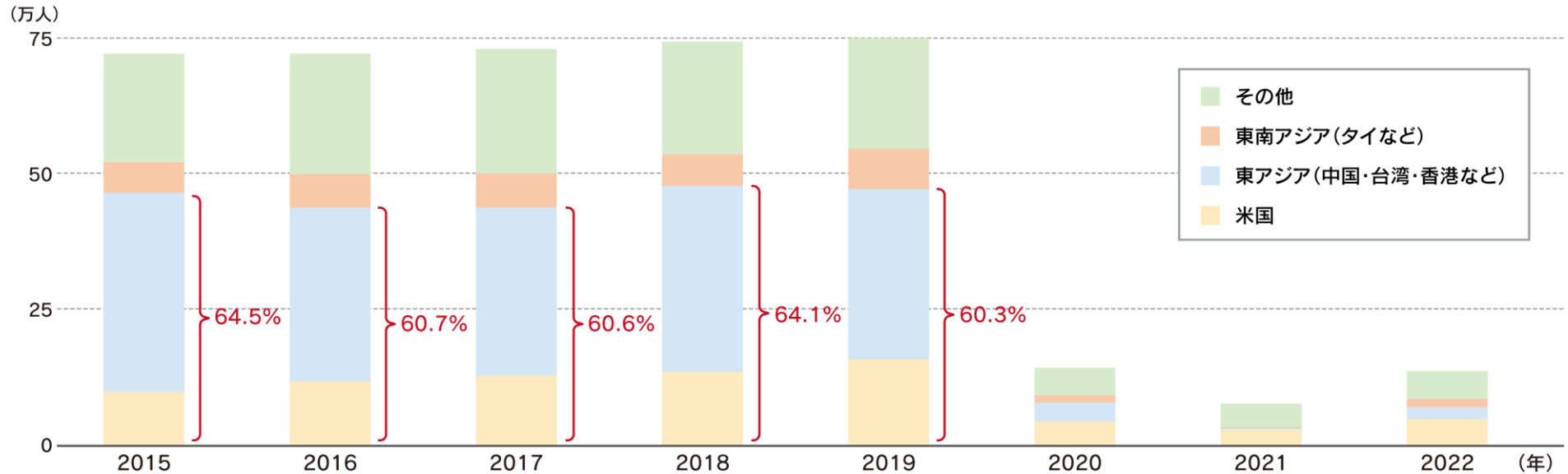
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
2018年	79.4	86.7	90.3	89.2	85.3	89.3	87.5	92.7	88.6	91.1	92.2	88.7	88.4
2019年	79.0	86.9	90.6	92.2	87.1	83.2	86.1	90.5	85.5	86.2	86.3	84.6	86.5
2020年	78.4	73.3	49.3	26.6	20.9	36.9	39.2	48.0	54.2	61.5	61.1	59.3	50.7
2021年	31.9	37.5	46.8	46.8	45.7	51.1	57.3	53.3	50.5	61.4	65.1	73.2	51.7
2022年	55.4	58.4	68.1	72.2	71.6	72.7	71.7	75.5	75.1	76.8	80.6	81.0	71.6

出典:横浜市「横浜市内主要ホテル平均稼働率」

# データ集

## ■市内の国・地域別外国人延べ宿泊者数

外国人延べ宿泊者数の米国と東アジアの割合は、2015～2019年(5か年)の平均で62.0%となっています。



## ■観光公式ウェブサイト「横浜観光情報」のページビュー(PV)数

2020年は新型コロナの影響に伴い、約800万PVに落ち込んだものの、翌2021年から回復傾向にあります。

(単位:PV)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
日本語	23,666,183	22,318,964	22,380,878	22,825,322	23,468,210	8,100,011	13,043,425	15,383,070
外国語※	1,553,831	1,473,785	1,393,453	1,447,627	1,388,450	254,651	298,607	856,835
合計(PV数)	25,220,014	23,792,749	23,774,331	24,272,949	24,856,660	8,354,662	13,342,032	16,239,905

※英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語に加え、2018年以降はフランス語、スペイン語、インドネシア語を含みます。

出典:(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー「横浜観光情報アクセス解析」(Google Analytics)



# データ集

## ■都市別国際会議の開催件数

国際会議の開催件数は150～200件で推移していますが、2019年はTICADに伴う関連会議が開催されたこと等により、277件となりました。

(単位:件)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1位	東京(23区): 557	東京(23区): 574	東京(23区): 608	東京(23区): 645	東京(23区): 561	東京(23区): 63	横浜市: 13	東京(23区): 134
2位	福岡市: 363	福岡市: 383	神戸市: 405	神戸市: 419	神戸市: 438	京都市: 26	京都市: 4	京都市: 70
3位	仙台市: 221	京都市: 278	京都市: 306	京都市: 348	京都市: 383	神戸市: 23	東京(23区): 3	横浜市: 44
4位	京都市: 218	神戸市: 260	福岡市: 296	福岡市: 293	福岡市: 313	福岡市: 15	北九州市: 2	福岡市: 33
5位	横浜市: 190	名古屋市: 200	名古屋市: 183	名古屋市: 202	横浜市: 277	千里地区(注): 13		
6位	名古屋市: 178	横浜市: 188	横浜市: 176	横浜市: 156	名古屋市: 252	仙台市: 10	仙台市、伊勢志摩地区(注)、神戸市、府中市、柏市、姫路市、岡山市	仙台市、札幌市: 23
7位	大阪市: 139	大阪市: 180	大阪市: 139	大阪市: 152	大阪市: 204	横浜市、名古屋市、大阪市: 9		

(注)大阪府の豊中市、吹田市、(注)伊勢市、鳥羽市、志摩市、茨木市、高槻市、箕面市を含む 玉城市、南伊勢町、度会町を含む

出典: 日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」

## ■都市別国際会議の参加者総数

パシフィコ横浜を中心に、高い収容力を有する横浜市は、国際会議の参加者総数において、国内で常に上位に位置しています。

(単位:人)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1位	東京(23区): 334,662	横浜市: 313,193	東京(23区): 260,624	東京(23区): 293,157	東京(23区): 308,276	京都市: 29,716	東京(23区): 29,196	東京(23区): 62,196
2位	横浜市: 278,986	東京(23区): 302,269	横浜市: 249,414	横浜市: 215,171	横浜市: 303,767	横浜市: 19,882	横浜市: 22,837	横浜市: 54,558
3位	福岡市: 158,060	京都市: 202,996	福岡市: 151,029	大阪市: 190,433	名古屋市: 192,416	東京(23区): 15,544	京都市: 1,046	札幌市: 40,222
4位	京都市: 153,495	福岡市: 193,591	京都市: 140,253	神戸市: 187,773	京都市: 190,834	神戸市: 6,567	仙台市: 568	京都市: 37,293
5位	大阪市: 128,350	大阪市: 130,577	千葉市: 110,900	京都市: 156,076	神戸市: 158,094	福岡市: 4,806	伊勢志摩地区(注): 509	千葉市: 20,270

※JNTO基準

- ①主催者: 国際機関・国際団体又は国家機関・国内団体 ②参加者総数: 50人以上  
③参加国数: 日本を含む3居住国・地域以上 ④開催期間: 1日以上

(注)伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城市、南伊勢町、度会町を含む

出典: 日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」

# データ集

## ■中大型国際会議(外国人参加者数50人以上及び参加者総数300人以上)の開催件数

横浜市は中大型国際会議の開催件数において、国内で常に上位に位置しています。

(単位:件)

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		
1位	東京(23区)	78	東京(23区)	103	東京(23区)	88	東京(23区)	112	東京(23区)	110	東京(23区)	4	京都市	2	京都市	16	
2位	横浜市	58	京都市	61	横浜市	41	京都市	51	京都市	55	仙台市、横浜市、京都市、大阪市、千里地区(注)、福岡市、北九州市、別府市、沖縄地区(注2)	1	—	—	東京(23区)	12	
3位	京都市	47	横浜市	49	京都市	35	横浜市	44	横浜市	50		—	—	横浜市	11		
4位	福岡市	31	福岡市	36	福岡市	22	神戸市	29	大阪市、神戸市	27		—	—	福岡市	8		
5位	大阪市	28	名古屋市	21	神戸市	20	北九州市	26	—	—		—	—	札幌市、神戸市	5		

(注)大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を含む

(注2)那覇市、浦添市、宜野湾市、沖縄市を含む

出典:日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」

## ■会場別国際会議の参加者総数

パシフィコ横浜は国内最大級のオールインワン複合MICE施設であり、2019年まで18年連続で国内の国際会議参加者総数が第1位となっています。

(単位:人)

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
1位	パシフィコ横浜	249,189	パシフィコ横浜	283,564	パシフィコ横浜	220,029	パシフィコ横浜	201,512	パシフィコ横浜	266,958	国立京都国際会館	26,179	東京ビッグサイト	28,891	パシフィコ横浜	50,701
2位	国立京都国際会館	98,707	国立京都国際会館	142,105	幕張メッセ	108,166	神戸国際会議場	133,956	国立京都国際会館	111,679	パシフィコ横浜	17,413	パシフィコ横浜	22,022	福岡国際会議場	30,424
3位	東京ビッグサイト	85,415	東京ビッグサイト	95,094	福岡国際会議場	76,246	大阪府立国際会議場	124,841	名古屋国際会議場	105,099	京都大学	2,875	新横浜プリンスホテル	715	東京ビッグサイト	24,178
4位	名古屋国際会議場	77,374	大阪府立国際会議場	83,454	東京国際フォーラム	70,033	神戸ポートピアホテル	115,514	神戸国際会議場	96,612	九州大学	1,553	仙台国際センター	568	国立京都国際会館	22,756
5位	大阪府立国際会議場	76,831	福岡国際会議場	67,870	国立京都国際会館	69,334	国立京都国際会館	83,575	大阪府立国際会議場	91,428	東京大学	1,457	三重県営サンアリーナ	509	マリンメッセ福岡	20,604

出典:日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」

# データ集

## ■クルーズ船の寄港回数(港湾別)

横浜港の寄港回数は国内で常に上位であり、2019年には過去最大の188回の実績となっています。

(単位:回)

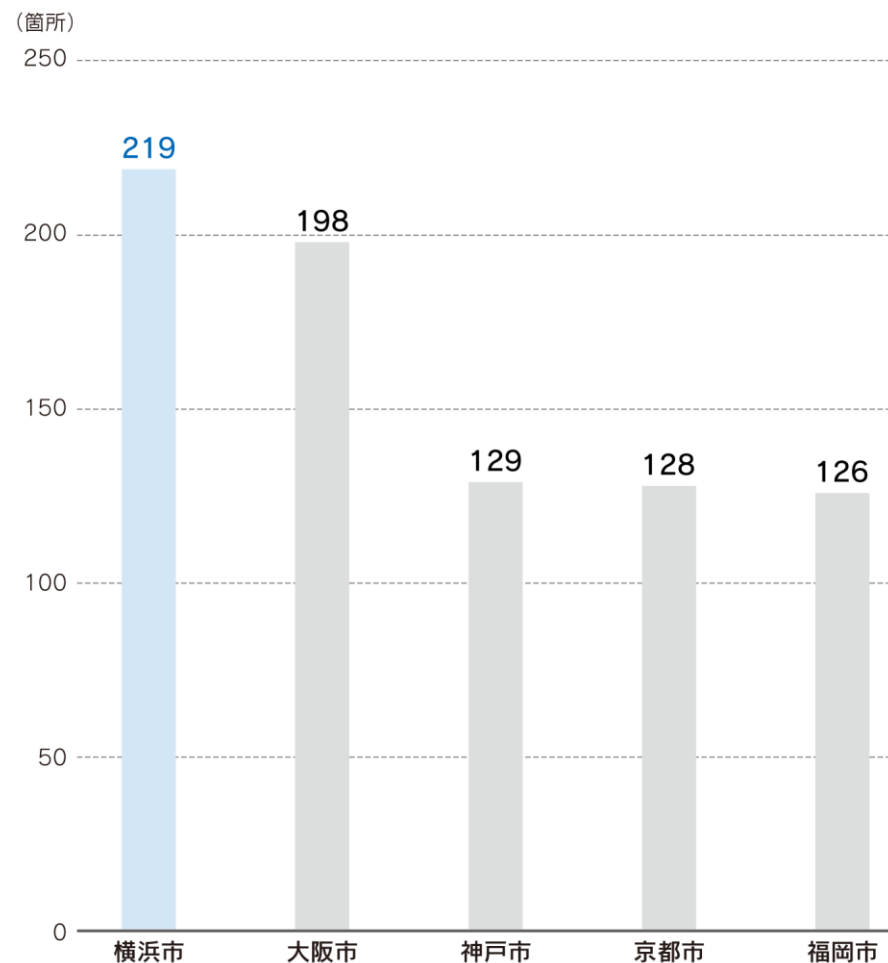
	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
1位	博多	259	博多	328	博多	326	博多	279	那覇	260	ベラビスタ マリーナ	53	ベラビスタ マリーナ	82	ベラビスタ マリーナ	93
2位	長崎	131	長崎	197	長崎	267	那覇	243	博多	229	横浜	47	横浜	72	横浜	82
3位	横浜	125	那覇	193	那覇	224	長崎	220	横浜	188	神戸	29	神戸	24	神戸	57
4位	那覇	115	横浜	127	横浜	178	横浜	168	長崎	183	宮島/那覇	19	宮島	18	小豆島	33
5位	神戸	97	神戸	104	石垣	132	平良	143	石垣	148	—	—	笠島漁港	15	宮島	32
6位	石垣	84	石垣	95	平良	130	神戸	136	平良	147	笠島漁港	16	名古屋	14	名古屋	22
7位	鹿児島	53	平良	86	神戸	116	ベラビスタ マリーナ	122	神戸	131	博多	14	大三島	13	宮之浦	18
8位	佐世保	36	鹿児島	83	鹿児島	108	佐世保	108	鹿児島	106	大三島	13	仁尾	12	大阪/竹原	14
9位	名古屋	34	佐世保	64	佐世保	84	石垣	107	ベラビスタ マリーナ	100	犬島	12	大島	11	—	—
10位	広島	32	広島	47	八代	66	鹿児島	100	佐世保	79	石垣/長崎	10	小大下島	10	清水	13
	⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮	
	⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮	
	⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮	
	⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮	
国内合計		1,454		2,017		2,764		2,930		2,866		352		420		720

出典:国土交通省港湾局「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数」

# データ集

## ■ 学術・研究開発機関の事業所数

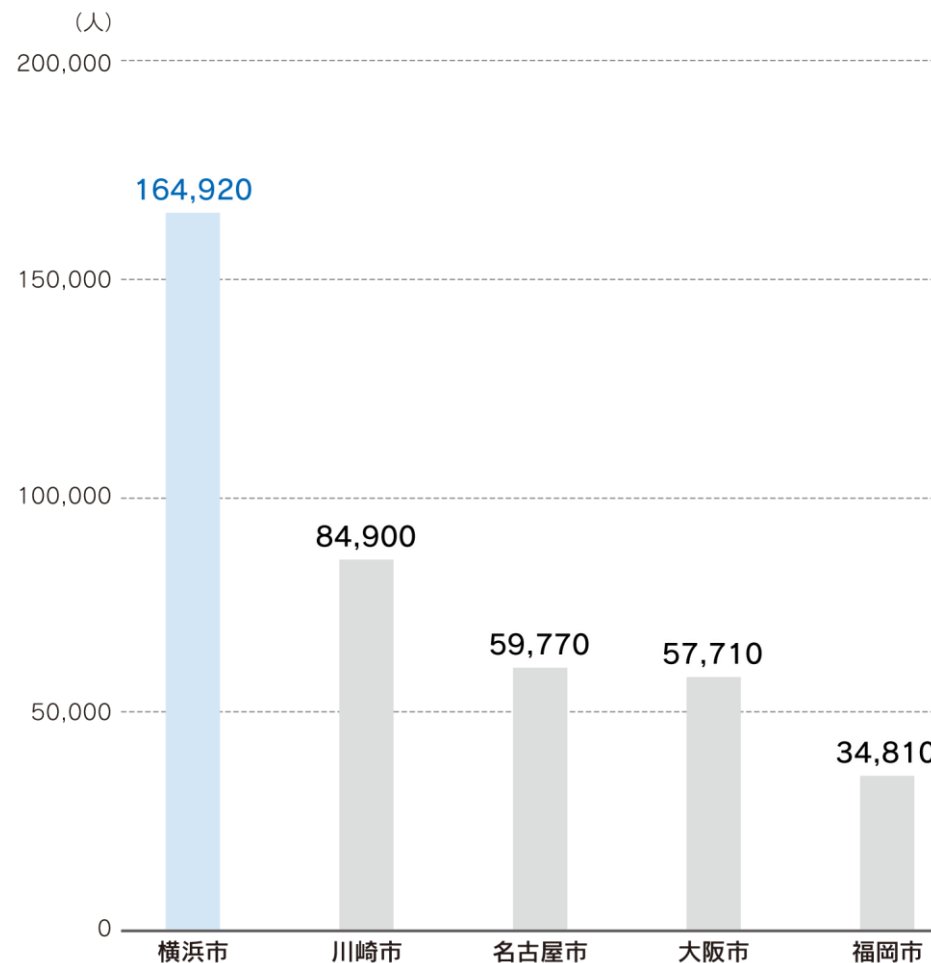
指定都市の中では、「学術・研究開発機関の事業所数」が第1位となっています。



出典: 経済センサス活動調査(令和3年)

## ■ 技術者・研究者の数

指定都市の中では、「技術者・研究者の数」が第1位となっています。



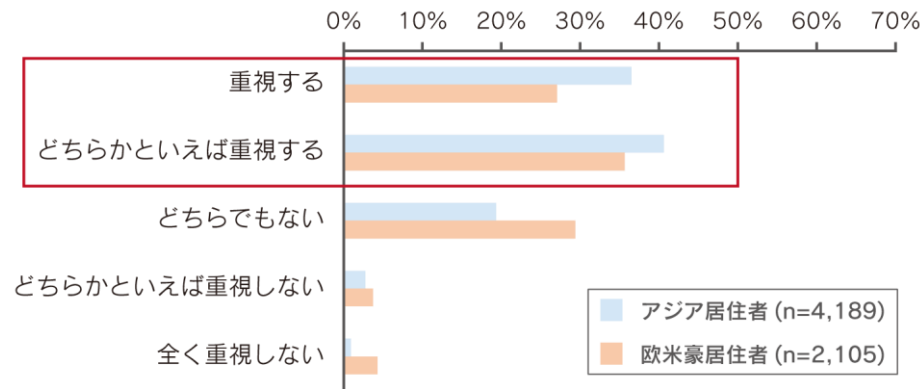
出典: 国勢調査(令和2年)

# データ集

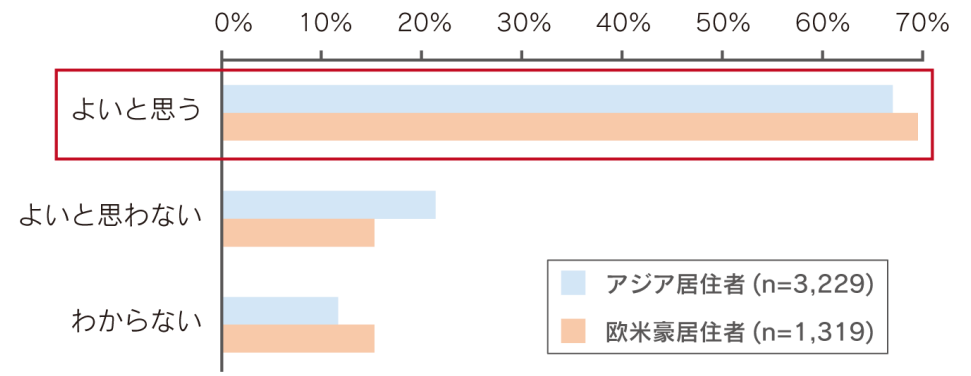
## ■訪日外国人旅行者のサステナブルに対する意向

訪日外国人旅行者は、海外旅行の訪問先や宿泊施設を検討する際、サステナブルな取組を重視する傾向があります。そのため、サステナブルな取組による宿泊単価値上げに対して70%近くが「よいと思う」と回答しています。取組を重視する理由としては、「環境資源の保全等に配慮したいから」「伝統・文化資産等の保護・継承に貢献したいから」の割合が高くなっています。

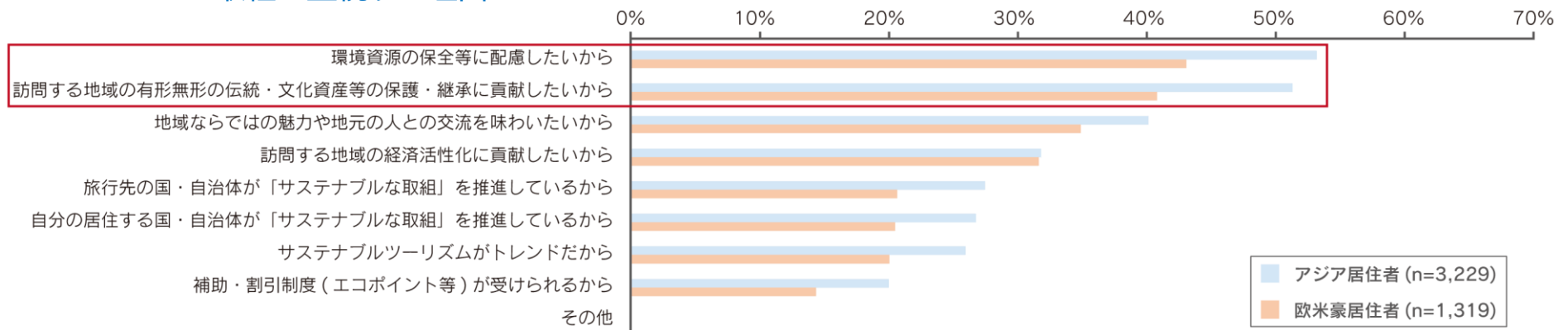
### ○サステナブルな取組を重視するか



### ○サステナブルな取組による宿泊単価値上げに対する許容について



### ○サステナブルな取組を重視する理由



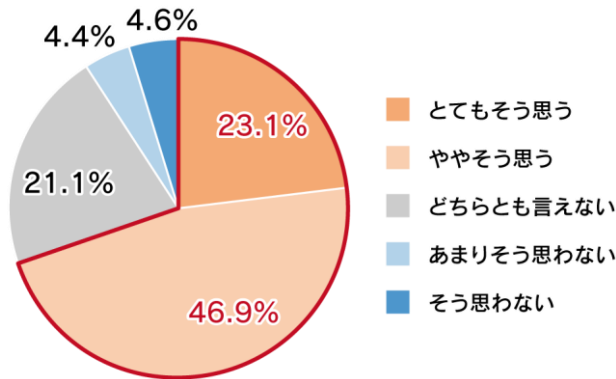
出典:DBJ・JTBFアジア・欧米豪「訪日外国人旅行者の意向調査(2022年)」

# データ集

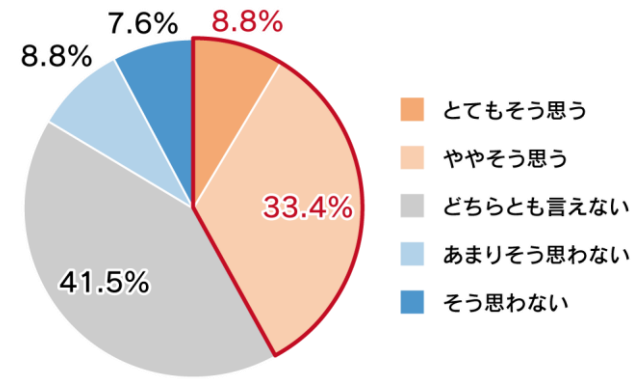
## ■観光・MICEに関する市民意識

### ○横浜市が発展に観光・MICEが寄与していると思うか

【観光】横浜市が発展に観光が「寄与している」と思う割合は、70.0%となっています。

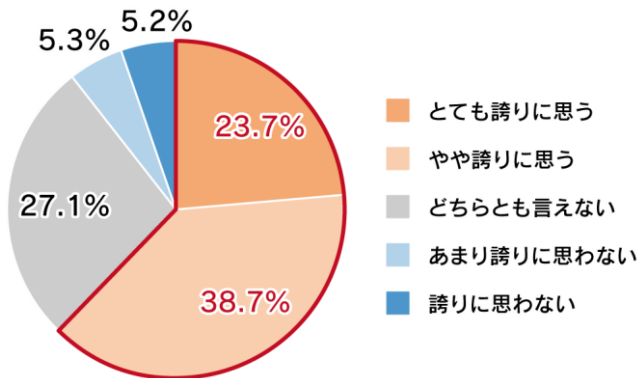


【MICE】横浜市が発展にMICEが「寄与している」と思う割合は、42.2%となっています。

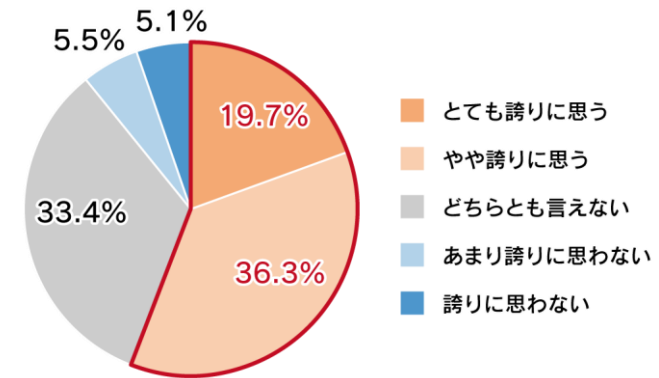


### ○横浜市が観光・MICEに関して評価されることを誇りに思うか

【観光】横浜市が観光に関して国内外から評価されることを誇りに思っている割合は、62.4%となっています。



【MICE】横浜市がMICEに関して国内外から評価されることを誇りに思っている割合は、56.0%となっています。



出典：横浜市「観光・MICEの振興に関する市民意識調査(2022年)」